

E. coli由来コレステロールエステラーゼ、組換え

Cat. No. DIA-405

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

ステロールエステラーゼは、加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。この酵素クラスの系統名はステリルエステルアシルヒドロラーゼです。この酵素は胆汁酸の生合成に関与しています。

別名

コレステロールエステラーゼ; コレステリルエステル合成酵素; トリテルペノールエステラーゼ; コレステリルエステラーゼ; コレステリルエステル加水分解酵素; ステロールエステル加水分解酵素; コレステロールエステル加水分解酵素; コレステラーゼ; アシルコレステロールリパーゼ; EC 3.1.1.13; ステロールエステラーゼ

製品情報

種	大腸菌
由来	E. coli
外形	淡い黄色の凍結乾燥物
EC番号	EC 3.1.1.13
CAS登録番号	9026-00-0
分子量	ca. 54 kDa
活性	> 5 U/mg 凍結乾燥物
pH安定性	5.0-10.0
最適pH	5.5-7.0
熱安定性	50°C未満
最適温度	40°C
ミカエリス定数	1.9×10^{-5} M (コレステロールリノレート)
構造	54 kDaのモノマー (SDS-PAGE)
特異性	コレステロールリノレート (100)、コレステロールアセテート (2)、コレステロールオレート (98)、コレステロールパルミテート (74)、コレステロールステアレート (68)、コレステロールアラキドネート (46)
安定化剤	スクロース
単位定義	1単位 (U) は、37°CおよびpH 6.0で1分あたり1μmolのコレステロールを生成する酵素の量として定義されます。